

# 操作説明書

2018/03/20

Ver 1.01



アプリタンク

〒532-0002  
大阪市淀川区東三国6-18-16-504  
TEL 090-8215-4030  
FAX 06-6399-1882  
E-mail [information@application.tank.jp](mailto:information@application.tank.jp)  
HomePage <http://application.tank.jp>  
担当 岡嶋勝稔

# 目次

メニューバー	1／7
入力 1	2／7
入力 2	3／7
検索	4／7
総勘定元帳	5／7
印刷	6／7
データベース	7／7

AppTank1111 (振替伝票入力 & 総勘定元帳) Ver 1.00

ファイル(F) 表示(V) 印刷(P) 更新(R) データベース(D) ヘルプ(H)

① ② ③ ④ ⑤ 振替伝票入力 DB=未使用 0(リスト) / 0(全)

検索

日付 当月 本日 金額 借方科目 / 補助科目 摘要 貸方科目 / 補助科目

< 2018/02/12 > ~ < 2018/02/12 > クリア 検索

入力

日付 本日 金額 借方科目 / 補助科目 摘要 貸方科目 / 補助科目

2018年 2月12日 削除 上書 新規

日付 金額 借方/補助 摘要 貸方/補助

① ② ④ ⑤

ファイル(F) 表示(V) 印刷(P)

開く(O)  
名前を付けて保存(A)  
データの削除(D)  
終了(X)

表示(V) 印刷(P) 更新(R)

振替伝票入力(E)  
総勘定元帳(L)

更新(R) データベース(D)

日付順にソート(D)  
借方順にソート(B)  
摘要順にソート(N)  
貸方順にソート(C)  
科目の更新(R)

データベース(D) ヘルプ(H)

未使用(N)  
MySQL(M)  
SQLserver(S)

## 【メニューバー】

## ① ファイル (F) (表示=振替伝票入力)

- ・開く (O)  
このアプリで保存されたファイルを追加で読込
- ・名前を付けて保存 (A)  
リストに表示されているデータをCSVファイルで保存
- ・データの削除 (D)  
全データを削除 (データベース=未使用 のとき有効)
- ・終了 (X)  
このアプリを終了 (ウィンドウ右上の[X]と同じ)

## ② 表示 (V)

- ・振替伝票入力 (E)  
振替伝票入力をリストに表示
- ・総勘定元帳 (L)  
総勘定元帳をリストに表示

## ③ 印刷 (P)

- ・リストを印刷イメージで表示

## ④ 更新 (R)

- ・日付順にソート (D) リストを日付順にソート (初期値)
- ・借方順にソート (B) リストを借方順にソート
- ・摘要順にソート (N) リストを摘要順にソート
- ・貸方順にソート (C) リストを貸方順にソート
- ・科目の更新 (R) 追加された科目をプルダウンに反映

## ⑤ データベース (D) (表示=振替伝票入力)

- ・未使用 (N)  
データベースは使用しない
- ・MySQL (M)  
MySQL を使用 (MySQL 5.5 は動作確認)
- ・SQLserver (S)  
Microsoft SQL Server を使用  
(SQL Server 2008 R2, 2012, 2014 は動作確認)

## ⑥ ヘルプ (H)

- ・ヘルプを表示

## 【入力 1】

## ① 日付

▼でカレンダーを表示し選択 または 直接キー入力  
[本日]ボタンで本日をセット(初期値)

## ② 金額

数字のみを入力 (カンマ「,」は不要)

## ③ 借方科目／補助科目

上段は借方科目、下段は補助科目  
プルダウンリストからの選択またはキー入力

## ④ 摘要

キー入力

## ⑤ 貸方科目／補助科目

上段は貸方科目、下段は補助科目  
プルダウンリストからの選択またはキー入力

## ⑥ [クリア]ボタン

②金額・③借方科目/補助科目・④摘要・

⑤貸方科目/補助科目を空白にし、日付を本日にセット

## ⑦ [上書]ボタン

リストから選択した場合、修正して上書登録  
(確認メッセージあり)

※ 1

## ⑧ [新規]ボタン

入力した内容を新規登録  
(確認メッセージあり)

※ 1

※ 1 DB=未使用の場合、メモリに一時保管していますが、  
アプリの終了でメモリはクリアされます。  
名前を付けて保存 (A) で、保存してください。

AppTank1111 (振替伝票入力 & 総勘定元帳) Ver 1.00

ファイル(F) 表示(V) 印刷(P) 更新(R) データベース(D) ヘルプ(H)

振替伝票入力 DB=未使用 3(リスト) / 3(全)

検索

日付 当月 本日 金額 借方科目 / 補助科目 摘要 貸方科目 / 補助科目

< 2018/02/01 > ~ < 2018/02/28 > クリア 検索

入力

日付 本日 金額 借方科目 / 補助科目 摘要 貸方科目 / 補助科目 クリア

2018年 2月 2日 1000 会議費 打合せ 現金 上書

削除 ② ▲ ③ ▼ △△喫茶 新規

日付	金額	借方/補助	摘要	貸方/補助
2018/02/01	100	消耗品費	ボールペン 〇〇文具店	現金
2018/02/02	1,000	会議費	打合せ △△喫茶	現金 ①
2018/02/02	30,000	現金	現金引き出し	普通預金 ××銀行

## 【入力 2】

## ① リスト選択

リストでWクリックすると背景色がパープルになり、入力エリアにデータがコピーされる。

リストの内容を個別にコピー

コピーしたい場所にマウスを移動し右クリック

「入力へコピー」、「入力へコピー(全部)」、「入力へコピー(上段)」、「入力へコピー(下段)」を選択してコピー

入力エリアのデータを修正等して、上書登録 または 新規登録

## ② [削除] ボタン

[削除] ボタンで選択された行を削除  
(確認メッセージあり)

## ③ [▲] ボタン [▼] ボタン

[▲] ボタン・[▼] ボタンで、同じ日付内で行の移動

AppTank1111 (振替伝票入力 & 総勘定元帳) Ver 1.00

ファイル(F) 表示(V) 印刷(P) 更新(R) データベース(D) ヘルプ(H)

振替伝票入力 DB=未使用 1(リスト) / 3(全)

検索 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

日付 当月 本日 金額 借方科目 / 補助科目 摘要 貸方科目 / 補助科目

< 2018/02/01 > ~ 消耗品費 クリア

< 2018/02/28 > ~ 検索

入力

日付 本日 金額 借方科目 / 補助科目 摘要 貸方科目 / 補助科目 クリア

2018年 2月12日 2018/02/12 上書

削除 ▲ ▼ 新規

日付	金額	借方/補助	摘要	貸方/補助
2018/02/01	100	消耗品費	ボールペン 〇〇文具店	現金

## 【検索】

## ① 日付

上段日付から ~ 下段日付までで検索  
▼でカレンダーを表示し選択 または 直接キー入力  
[当月]ボタンで上段は当月1日、下段は当月末日(初期値)  
[本日]ボタンで上段・下段ともに本日をセット  
[<]ボタン・[>]ボタンは、1ヶ月単位で変更  
上段は、先月1日 または 翌月1日  
下段は、先月末日 または 翌月末日

## ② 金額

上段の金額以上 ~ 下段の金額以下の範囲で検索  
(検索条件に指定しない場合は空白)

## ③ 借方科目/補助科目

検索条件を選択 (上段・下段ともに、完全一致で検索)  
(検索条件に指定しない場合は空白)

## ④ 摘要

検索条件を入力 (上段・下段ともに、部分一致で検索)  
(検索条件に指定しない場合は空白)

## ⑤ 貸方科目/補助科目

検索条件を選択 (上段・下段ともに、完全一致で検索)  
(検索条件に指定しない場合は空白)

## ⑥ [クリア]ボタン

②金額・③借方科目/補助科目・④摘要・  
⑤貸方科目/補助科目を空白にし、日付を当月にセット

## ⑦ [検索]ボタン

入力された ① ~ ⑤ の AND条件でリストに表示

## ⑧ データ件数

検索した結果のリスト件数 / 全体の件数  
表示例 1(リスト)/3(全)

AppTank1111 (振替伝票入力 & 総勘定元帳) Ver 1.00

ファイル(F) 表示(V) 印刷(P) 更新(R) データベース(D) ヘルプ(H)

検索 ① ② ③ 総勘定元帳 DB=未使用 ④ 6(リスト) / 3(全) ⑥

日付 当月 本日 繰越金額 借方科目 / 補助科目 貸方科目 / 補助科目

< 2018/02/01 > 100000 現金 < > 検索 ⑤

< 2018/02/28 >

勘定科目: 現金  
補助科目:

日付	相手科目	摘要	借方金額	貸方金額	残高
		繰越			100,000
2018/02/01	消耗品費	ボールペン 〇〇文具店		100	99,900
2018/02/02	会議費	打合せ △△喫茶		1,000	98,900
2018/02/02	普通預金 ××銀行	現金引き出し	30,000		128,900
		累計	30,000	1,100	
		繰越			128,900

【総勘定元帳】 メニューバーの表示で切替

- ① 日付  
上段日付から ~ 下段日付までで検索  
▼でカレンダーを表示し選択 または 直接キー入力  
[当月]ボタンで上段は当月1日、下段は当月末日(初期値)  
[本日]ボタンで上段・下段ともに本日をセット  
[<]ボタン・[>]ボタンは、1ヶ月単位で変更  
上段は、先月1日 または 翌月1日  
下段は、先月末日 または 翌月末日
- ② 繰越金額  
繰越金額の入力で、リスト先頭に表示  
(指定しない場合は空白)
- ③ 借方科目／補助科目  
検索条件を選択 (上段・下段ともに、完全一致で検索)  
(検索条件に指定しない場合は空白)
- ④ 貸方科目／補助科目  
検索条件を選択 (上段・下段ともに、完全一致で検索)  
(検索条件に指定しない場合は空白)
- ⑤ [検索]ボタン  
入力された ① ~ ④ のアンド条件でリストに表示
- ⑥ データ件数  
検索した結果のリスト件数 / 全体の件数  
表示例 6(リスト)/3(全)



## 振替伝票入力

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

振替伝票入力

日付	金額	借方/補助	摘要	貸方/補助
2018/02/01	100	消耗品費	ボールペン 〇〇文具店	現金
2018/02/02	1,000	会議費	打合せ △△喫茶	現金
	30,000	現金	現金引き出し	普通預金 ××銀行

## 総勘定元帳

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

総勘定元帳

勘定科目: 現金  
補助科目:

日付	相手科目	摘要	借方金額	貸方金額	残高
		繰越			100,000
2018/02/01	消耗品費	ボールペン 〇〇文具店		100	99,900
2018/02/02	会議費	打合せ △△喫茶		1,000	98,900
	普通預金 ××銀行	現金引き出し	30,000		128,900
		累計	30,000	1,100	
		繰越			128,900

## 【プリンタへの印刷方法】

印刷は IE(Internet Explorer)に表示します

- (1) 罫線を印刷できるように設定 (初回のみ)  
 メニューバー — ファイル(F) — ページ設定(U)  
☒ 背景の色とイメージを印刷する(C)  
 ↑  
 チェックを入れて、[OK]ボタンをクリック

- (2) 印刷 または 印刷プレビュー  
 メニューバー — ファイル(F) — 印刷(P) ...  
 メニューバー — ファイル(F) — 印刷プレビュー(V) ...

ページ設定

用紙オプション  
 用紙サイズ(Z): A4  
☒ 縦(O) ☐ 横(A)  
☒ 背景の色とイメージを印刷する(C)  
☒ 縮小して全体を表示できるようにする(S)

余白 (ミリ)  
 左(L): 9.91  
 右(R): 9.91  
 上(U): 9.91  
 下(D): 9.91

ヘッダーとフッター  
 ヘッダー(H): -空-  
 フッター(F): -空-  
 フォントの変更(N)

OK キャンセル



## 【データベース】 MySQL

## ■準備

- ・MySQL のインストール  
(MySQL 5.5.13 動作確認)
- ・AppTank1111.exeと同フォルダにmysql.data.dllをコピー

## ①入力

データベース名 (例) apptank  
 サーバ名 (例) localhost、192.168.1.1等  
 ユーザID (例) root  
 パスワード  
 テーブル名 (例) t\_data  
 を入力  
 MySQLで設定したユーザIDとパスワードを入力

## ②[データベース作成]ボタン

データベースを作成

## ③[テーブル作成]ボタン

テーブルを作成

## ④[接続テスト]ボタン

接続テストがOKの場合は、  
 「接続できました」とメッセージが表示

## ⑤[設定]ボタンで設定

件数表示の左側に「DB=MySQL」と表示

## 【データベース】 SQLsv

## ■準備

- ・Microsoft SQL Server のインストール  
(SQL Server 2008 R2, 2012, 2014 動作確認)

## ⑥入力

データベース名 (例) apptank  
 サーバ名 (例) localhost、192.168.1.1等  
 ユーザID (例) sa  
 パスワード  
 テーブル名 (例) t\_data  
 を入力  
 SQLsvで設定したユーザIDとパスワードを入力

## ⑦[データベース作成]ボタン

データベースを作成

## ⑧[テーブル作成]ボタン

テーブルを作成

## ⑨[接続テスト]ボタン

接続テストがOKの場合は、  
 「接続できました」とメッセージが表示

## ⑩[設定]ボタンで設定

件数表示の左側に「DB=SQLsv」と表示